

本日のスケジュール

19:00-19:25
「米国株のポイントと注目テーマは？」　齊木 良
19:25-19:30
齊木さんに直接聞いてみよう！質疑応答コーナー

19:30-19:55
「米中間選挙と日本株　米中間選挙後に日本株はどう変化するのか？」　鈴木 英之
19:55-20:00
鈴木さんに直接聞いてみよう！質疑応答コーナー

SBI証券

株式投資お悩み解決セミナー
～米中間選挙直前スペシャル～

第2部「米中間選挙後に日本株はどう変化するのか？」



鈴木　英之（すずき　ひでゆき）

国内株式　先物・オプション

投資情報部長
（日本証券アナリスト協会認定アナリスト）

早稲田大学卒。旧日栄証券（現SBI証券）入社、リテール営業、調査部、株式部等を経て、SBI証券投資情報部長に。旧モーニングスター（現ウエルスアドバイザー）へ転籍を経て2009年5月より現職。ラジオNIKKEI（月曜日）、ストックボイス（木曜日）等で市況コメントを発信。定期的寄稿も多数。
東京（下町）生まれ埼玉育ち。趣味はハロプロの応援と、旅行（乗り鉄）。週に1回は必ずサイゼリヤに通う“サイゼリヤファン”の1人。丸亀製麺は釜揚げうどんの“得”に野菜かき揚げがマスト。

■「中間選挙」前、株価底打ちのシグナルが点灯し始めた日経平均株価

SBI証券

★日経平均株価と「25日移動平均マイナス7.5%ライン」「200日移動平均線」「RSI」



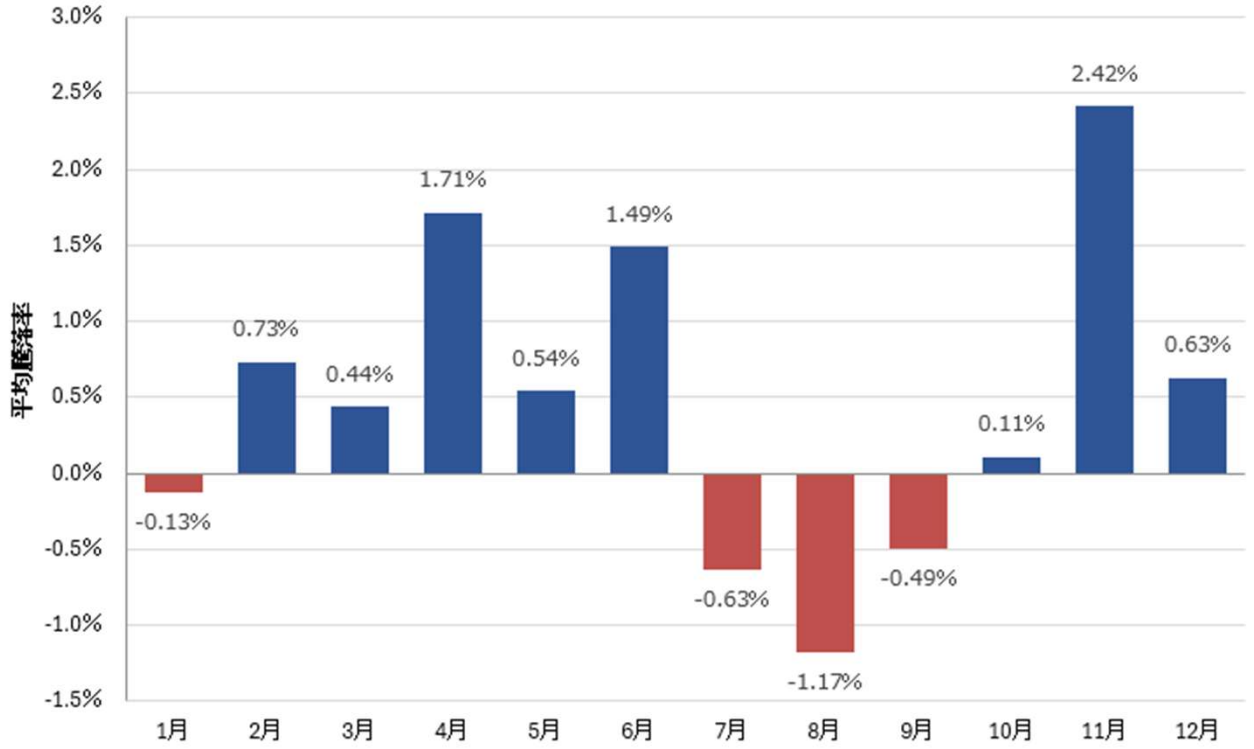
Quickデータをもとに SBI証券が作成。データ範囲は2024/10/1～2026/10/26。なお、チャートは過去の値動きから作成されており、将来の株価を示唆するものではありませんのでご注意ください

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

■アノマリー的には11月への「月替わり」に期待

SBI証券

★日経平均株価の月別平均騰落率 (過去30年)



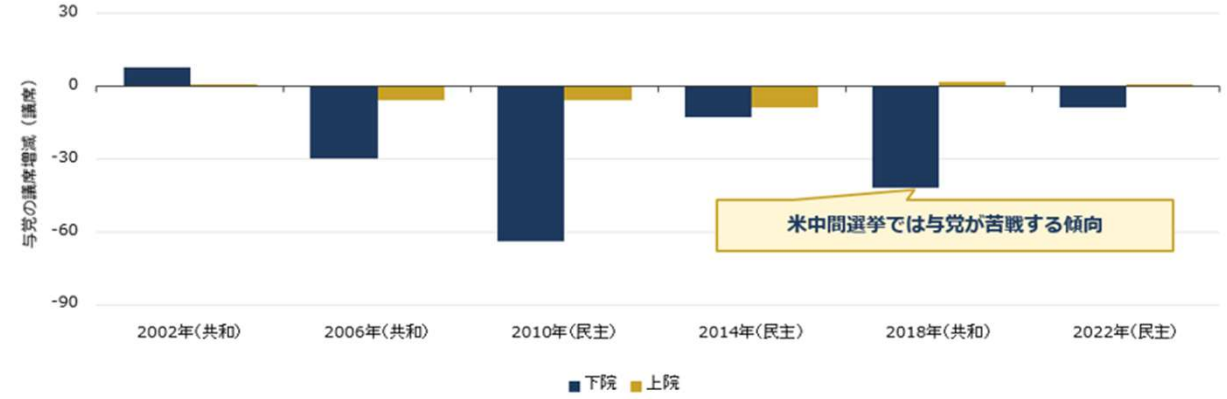
Quickデータをもとに SBI証券が作成。1996/10～2026/9の月足終値をもとに作成。比較対象としては1996/9終値も参照。

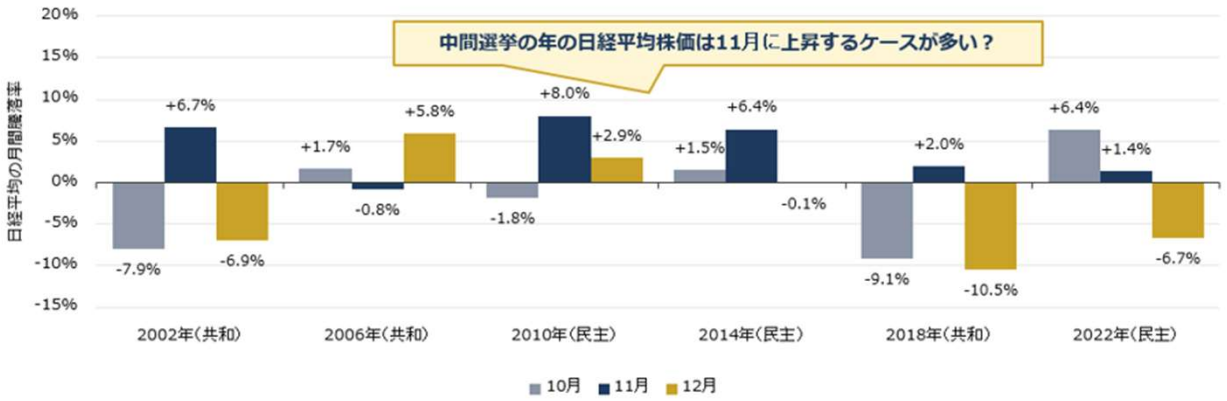
【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

■米中間選挙は政権政党が苦戦の傾向、日経平均株価への影響は少ない？

SBI証券

★米大統領選と日経平均株価





Quickデータ、米国上院・下院公表データをもとにSBI証券が作成。下院については、当選議員の任期となる議会の議席数から前回議会の議席数を単純に引いたものです。また、上院については、無所属ながらも共和党・民主党と統一会派を組んだ議員も両党への所属として含まれます。データ発表主体により、所属変更議員等の問題もあり数値が微妙に異なる場合がありますので、参考値としてご理解ください。

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

■ 下院で民主党多数、上院で共和党多数の場合の想定シナリオ（参考）

SBI証券

産業	プラス影響	マイナス影響	方向感
半導体・製造装置	・選挙通過で不透明感が後退し米国株が持ち直せば、日経平均は半導体関連の比重が大きいため指数ごと押し上げられやすい ・CHIPS法の延長論議は超党派で進みやすく、米国内の工場投資の継続期待につながる	・AI規制・データセンター規制の議論が強まり、投資が後ずれするリスク ・対中輸出管理の強化圧力(超党派)。製造装置大手の中国売上比率は高い ・半導体ETFが年初来で大きく上昇しており、材料が出ると調整しやすい	規制ニュースと金利次第
電子部品・AI関連(データセンター向け)	・米国のAI投資が続けば、選挙後の株高の波及を受けやすい	・下院にAI監督の委員会が設けられる見通しで、設備投資の不透明感が出やすい ・州レベルのデータセンター規制の動きにも注意	中立～やや慎重
電力インフラ・重電・送電網・蓄電池	・電力需要の増加は、与野党どちらの結果でも続きやすい ・蓄電池・原子力・地熱の税優遇はIRA廃止後も残っている	・州レベルの電気料金への反発や規制が地域的な逆風になりうる	プラス優勢
再生可能エネルギー(太陽光・風力)	・民主党の政治的な支援姿勢は心理面の追い風	・廃止済みの税額控除は、拒否権により復活しにくい ・法制度は変わらず、実質的な追い風は限定的	中立
防衛	・防衛費は超党派の支持があり、膠着状態でも継続しやすい	・イラン紛争の補正予算は精査が厳しくなり、上積み期待が剥落しうる ・日本の防衛関連は国内予算の影響が大きく、米選挙の影響は小さい	中立
自動車	・不透明感の後退で輸出株全般に買い戻しが入る可能性 ・一部消費財の関税引き下げ論議(民主党)	・関税は大統領の行政権限で決まり、下院が変わっても大きな緩和は期待しにくい ・民主党も日本車への関税に必ずしも否定的ではない	中立
機械・資本財・景気敏感株	・ねじれ後は政策の不確実性が低下し、景気敏感株が相対的に有利になりやすい(Citi) ・AI一極からの資金分散の受け皿になりうる	・予算・債務上限をめぐる対立、政府閉鎖のリスク(2026年12月、2027年春～夏)	プラス優勢
金融(銀行・保険)	・財政をめぐる対立で長期金利が上昇しやすく、利ざや拡大の思惑が出やすい	・金利の乱高下による市場全体のリスクオフ	中立～やや強気
医薬・ヘルスケア	・医療保険制度の維持で医療関連の需要は下支えされる	・薬価引き下げ論議は超党派で妥協の余地があり、米国売上比率の高い企業は注意	中立
ディフェンシブ(食品・生活必需品)	・市場が不安定になれば、相対的に買われやすい	・選挙後に景気敏感株へ資金が移ると、相対的に見劣りしやすい(Citi)	やや慎重

報道等をもとにSBI証券が作成。あくまでもひとつの見方であり、政治・経済の状況等により大きく事態がかわる可能性があります。

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

■ 下院・上院ともに民主党多数の場合の注意点（参考）

SBI証券

上院も民主党になった場合の注意点	
政策の不確実性の上昇	民主党が両院を握り議席差が大きいほど、政権への調査や予算面の制約が強まり、市場の不確実性が増す(BNY)
AI・データセンター	規制の議論が前に進みやすくなり、半導体関連株の負担が一段と増す。データセンター規制の波が広がると相場の腰折れにつながりかねない(ロイター)
立法の可能性	超党派の立法合意が成立する可能性はやや上がる(ステート・ストリート)。財政・医療などで妥協が進めば、医療・クリーンエネルギー関連に追い風
拒否権は残る	トランプ氏の拒否権があるため、関税の撤廃やIRAの復活といった大きな政策転換は引き続き難しい
確率	上院の民主党奪還は下院より接戦で、完全なねじれになるかは開票を待つ必要がある

報道等をもとにSBI証券が作成。あくまでもひとつの見方であり、政治・経済の状況等により大きく事態がかわる可能性があります。

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

SBI証券

株式投資お悩み解決セミナー

鈴木さんに直接聞いてみよう！
質疑応答コーナー

SBI証券

Q&A　事前にいただいた質問（抜粋）

1. 三菱重工は好調ですが、IHIは不調なのはなぜですか？
2. 商社株はなぜ上がらないのですか？割高、割安株の見極めを教えてほしいです
3. 半導体株をかなり持ってますが、来年の今頃は戻りますか？
4. 買い時や高値掴みを避ける方法はありますか？
5. サイバー攻撃が続くと市場に影響は出ますか？
6. 共和党が中間選挙で惨敗するとハイテク株の下落は加速するのか？
7. イラン戦争で物価が上昇し、金利が上がると銀行株に影響は？

※ご質問ありがとうございました。こちらの一覧は2026年10月28日時点で確認できたご質問のうち、鈴木が担当させていただく分です。
セミナー時間の関係で、一部抜粋とさせていただきます。

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。

動画、レポートコンテンツのご紹介

SBI証券

日本株



毎週金曜｜動画・レポート
旬な経済イベントについて徹底解説！注目すべき銘柄等もご紹介。



毎週水曜｜動画・レポート
東証スタンダード、東証グロース等の新興株を中心に解説します。

外国株



毎週月曜｜レポート
米株を気軽に確認したい投資家向けにスピーディーに情報配信。



毎週月曜｜レポート
米国市場の振り返りや見通し、注目の5銘柄をレポート。



隔週水曜｜レポート
バリュー投資の観点から注目ポイントをわかりやすく解説。

NISA・投資入門



毎週木曜｜動画・レポート
投資のはじめ方と投資アイデアをご紹介！



毎週木曜｜レポート
初心者でも安心！ゼロから学べる失敗しない投資の基本

投資信託



毎週月曜｜レポート
気になる話題も交えて
投資テーマやファンドをご紹介

先物・オプション



毎週火曜｜レポート
日経平均株価を中心に株式市場の見通し、投資ノウハウ、各種投資情報をご提供

詳しくは動画概要欄をご覧ください！

※投資情報部のコンテンツやスケジュールは変更する可能性があります

チャンネル登録・いいねボタン
よろしくお願いします！

投資情報部
鈴木 英之



金融商品取引法等に係る表示

SBI証券

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示
https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商 号 等 ：株式会社SBI証券　金融商品取引業者、商品先物取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、
一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

【本資料の免責事項・注意事項】本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。